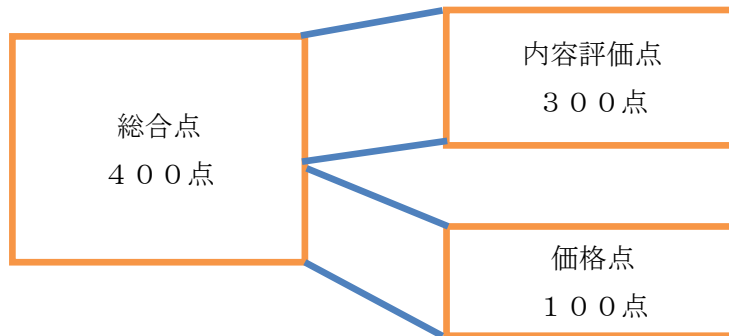


文書生成 AI サービス利用業務評価基準

1 基本的な考え方

候補者の決定にあたっては、提案内容によって評価する方法を採用し、総合点の最も高い提案者を候補者とする。



(1) 評価の点数

提案者の獲得する「総合点」は、内容を評価する「内容評価点」と「価格点」の単純な和となる。

$$\cdot \text{総合点 (400点)} = \text{内容評価点 (300点)} + \text{価格点 (100点)}$$

(2) 有効数字

「内容評価点」及び「価格点」の算出にあたっては、小数点以下1桁目で四捨五入する。

(3) 総合評価の方法及び候補者の決定方法

「(1) 評価の点数」で評価した「総合点」が最も高い者を候補者とする。

(4) 総合点の最も高い者が2以上あるとき（同点のとき）の対応

- ① 提案者それぞれの「内容評価点」、「価格点」が異なる場合
「内容評価点」が高い者を候補者とする。
- ② 提案者それぞれの「内容評価点」、「価格点」が同じ場合
別途日を定め、くじ引きにより候補者を決定する。

2 提案内容の評価

(1) 内容評価点について

① 評価について

「内容評価点」は、別に定める「企画提案書評価項目表」に基づき、以下の手順で企画提案書の内容を評価する。

ア 評価項目の設定、配点

次のとおり評価項目を設定し、以下のように配点を設定する。

分類	評価項目	加重点	配点	
内容評価点	1. 提案内容			
	1-1 基本的な考え方	2	10点	
	1-2 システム構成	1	5点	
	1-3 システム内容	4	20点	
	1-4 運用保守体制	3	15点	
	1-5 導入実績	—	15点	
	1-6 研修・マニュアル	3	15点	
	1-7 追加提案	4	20点	
	2. 機能要件			
	2-1 機能要件への対応状況	—	100点	
	3. トライアル			
	3-1 トライアル	—	100点	
	非価格点小計			300点

イ 内容評価点の考え方

○提案内容（1-5 導入実績を除く）

評価基準	評価値
優れている	5点
やや優れている	4点
普通	3点
やや劣る	2点
劣る	1点
記載なし	0点

○導入実績

評価基準	評価値
履行した実績が5団体以上ある	15点
履行した実績が3~4団体ある	10点
履行した実績が1~2団体ある	5点
記載なし	0点

○機能要件一覧

本市指定様式「機能要件一覧表」により、下記のとおり採点する。

評価基準	評価値
標準対応	5点
代替対応	3点
カスタマイズ対応	1点
対応不可	0点

○トライアル

以下の観点からアと同様、5～1点で評価。

- ・画面構成
- ・操作性
- ・機能性

ウ 評価項目の加重点の考え方

評価項目に応じて、加重点を項目ごとに設定する。

エ 内容評価点の計算

内容評価点の計算は以下の式で行う。

- ・ 項目評価点(1-5 導入実績を除く) = 評価項目の評価点×加重点
- ・ 項目評価点(1-5 導入実績) = 評価項目の評価点
- ・ 機能要件評価点 = 各項目の評価点の和×2÷3
- ・ 内容評価点 = 項目評価点と機能要件評価点の合計

② 失格について

「内容評価点」が60%未満の場合には、失格とする。

3 提案価格の評価

「価格点」の点数算出式は、次のとおりとする。

$$\text{価格点} = 100 \times (\text{提案価格のうち最低価格} / \text{自社の提案価格})$$

- ・ 提案上限額は、評価のための数値であり、本市にて設定する。
- ・ なお、提案価格が提案上限額を超えている場合は、失格とする。
- ・ 参加者が1者のみまたは、提案価格書の金額が全て同額の場合は、価格を一律100点とする。

以上